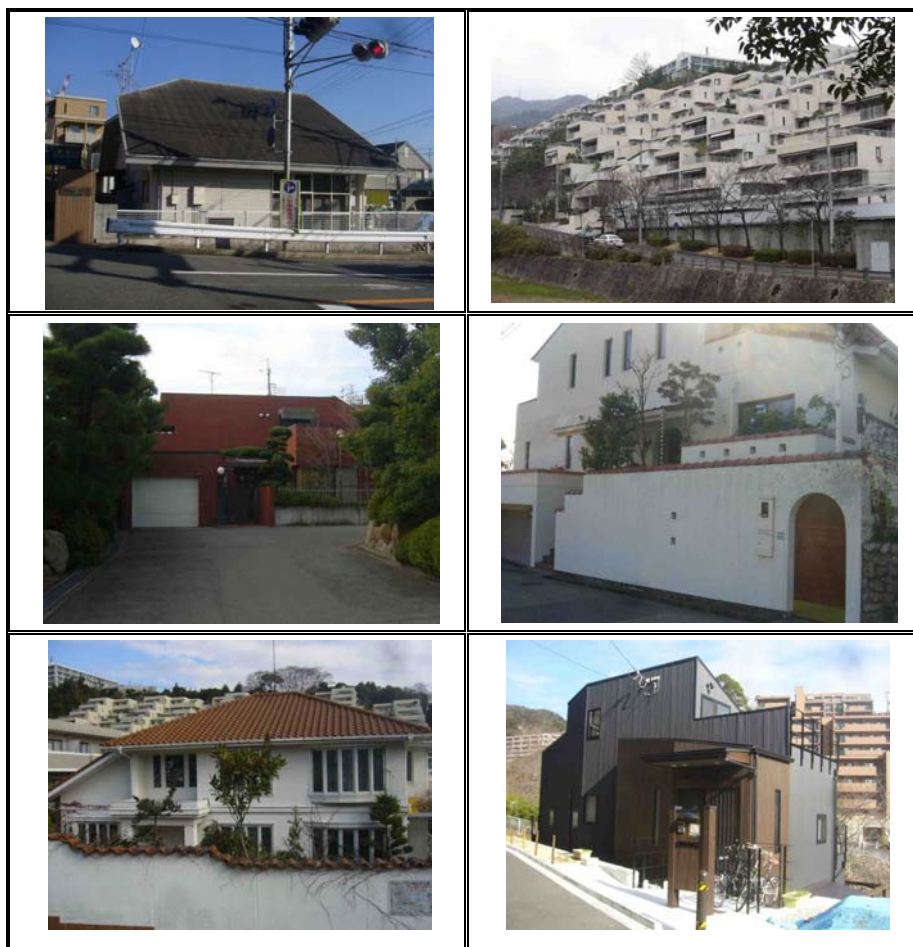


③地区別傾向:開森橋以北

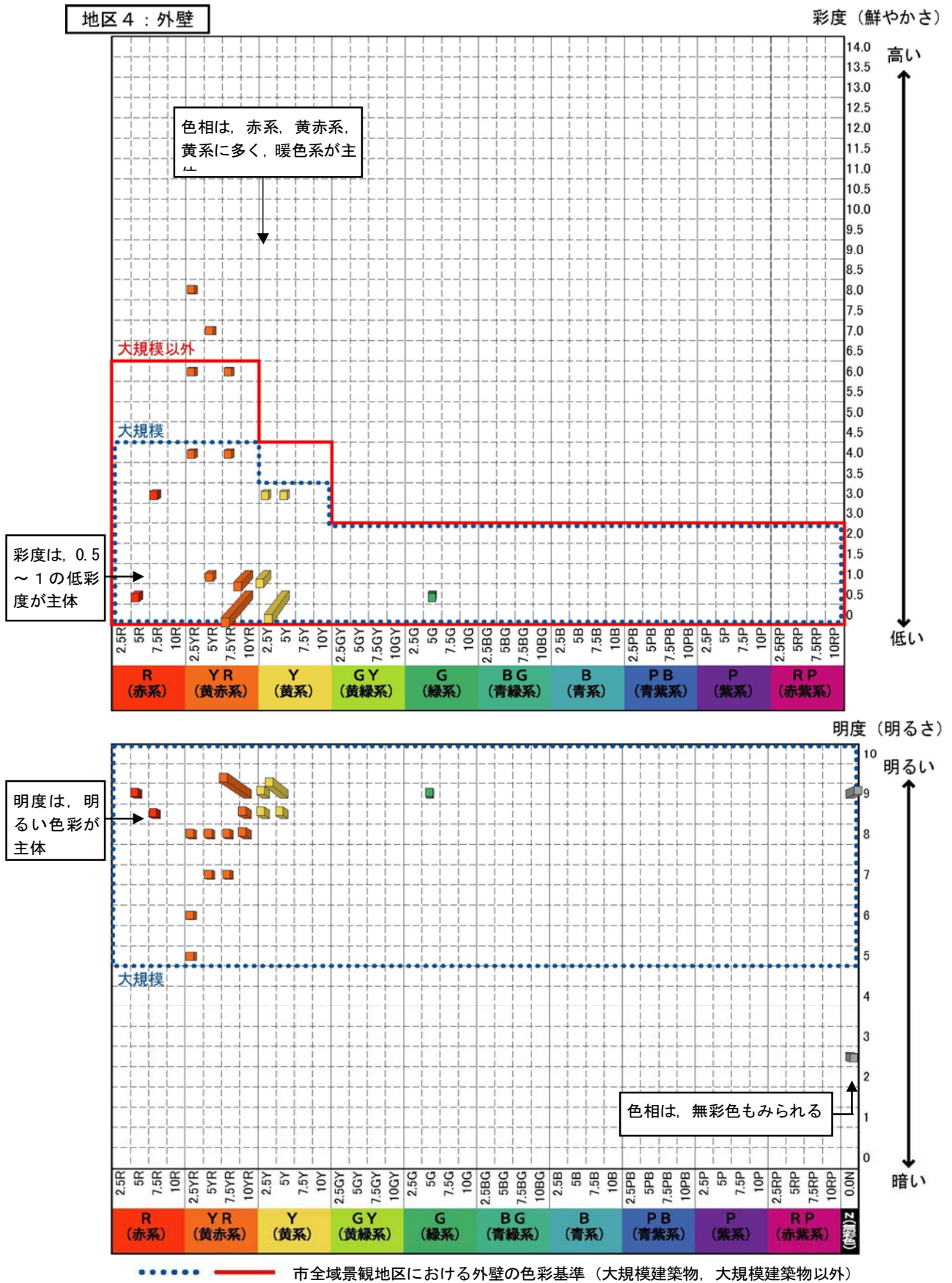
■色彩の現況特性

- ・ 山側の斜面地に建つ低層住宅と、左岸の斜面地マンションからなる地区である。外壁の色彩は YR, Y 系の高明度, 低彩度色が多く, 屋根の色彩は比較的ばらつきが見られる。
- ・ 外壁の仕上げは吹付けによるものが多い。
- ・ 比較的新しい小規模な住宅やマンションも多いが, 木や石貼り風の素材を一部用いるなど, 自然環境と調和しているものも見られる。

■色彩の現況例

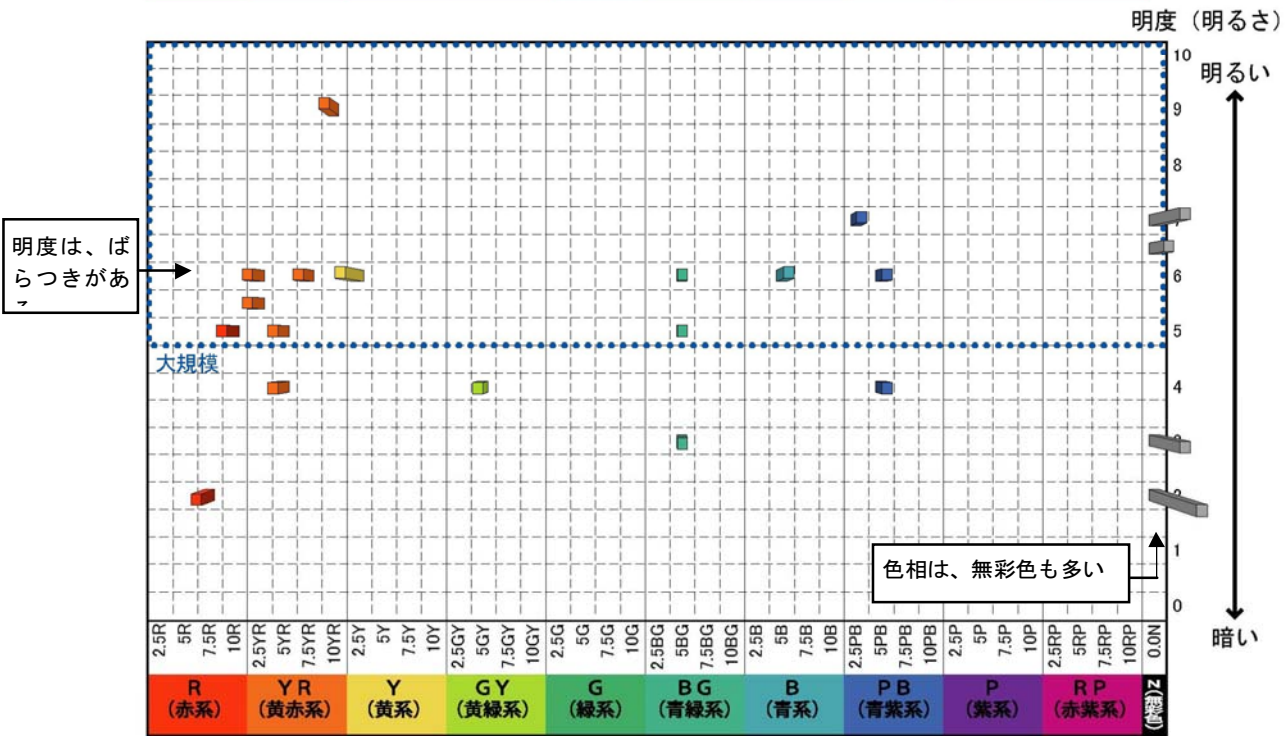
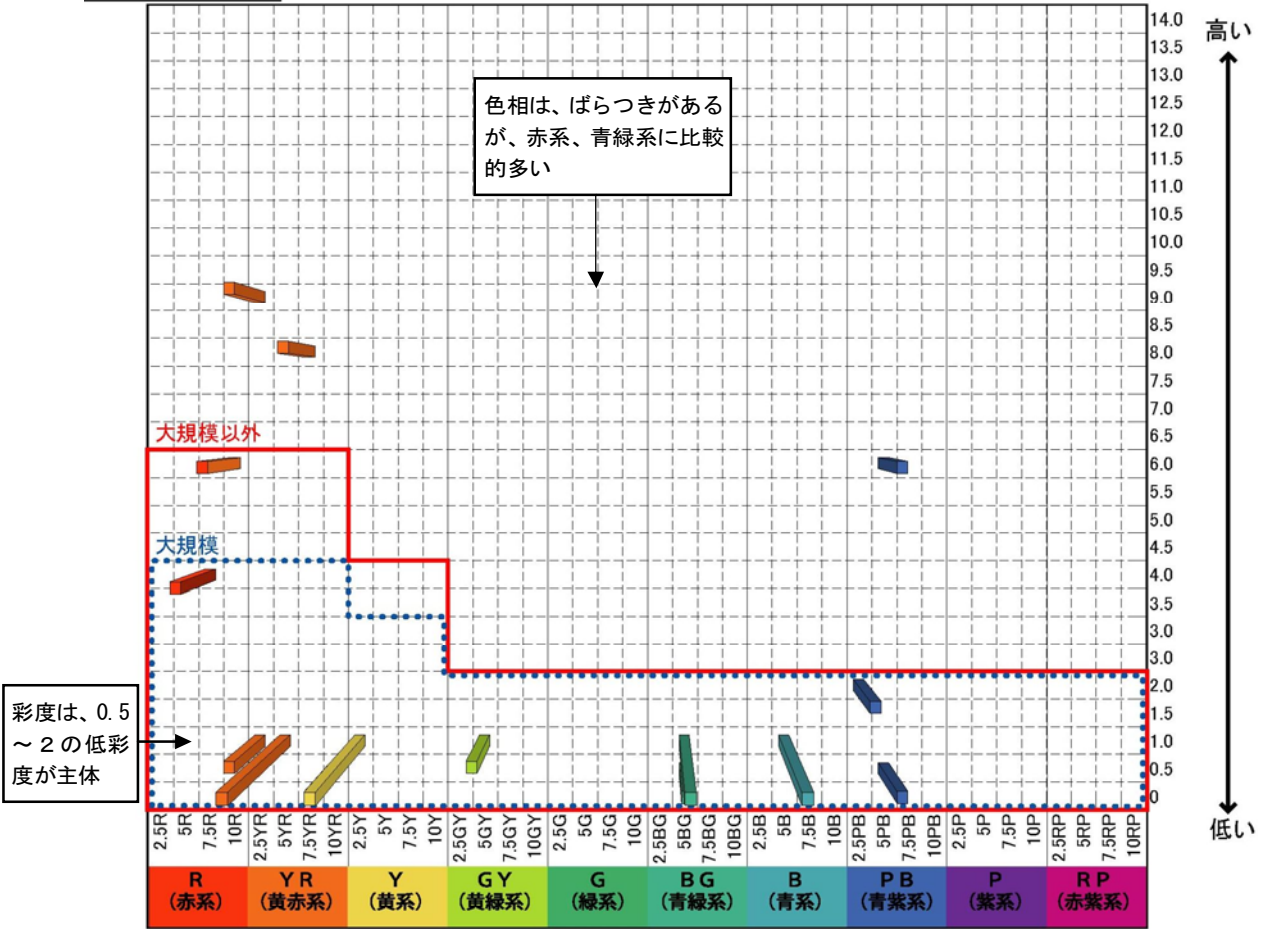


■調査結果・マンセル色度図



地区4：屋根

彩度（鮮やかさ）



..... 市全域景観地区における外壁の色彩基準（大規模建築物、大規模建築物以外）

2. 景観形成上の課題の整理

市民アンケートの結果と、これまで見てきた景観特性から、景観形成上の課題を整理する。

(1) 芦屋川沿岸地域の特長・魅力を守り・育てるルール（制限内容）の検討

- ・河岸の両岸に連続する緑一体となった通り外観，広がりのある眺望景観の保全，育成



- ・山手の斜面地における六甲の山の自然と一体化した景観の保全，育成



(2) 近隣商業地域における景観形成のあり方

- ・阪急芦屋川周辺の近隣商業地域における景観形成のあり方の検討（住宅系用途地域との違い）



(3) 芦屋景観地区及び芦屋川南特別景観地区（JR以南）との整合

- ・芦屋景観地区の基準に比べ，より定量的（具体的）な制限内容の検討
- ・芦屋川南特別景観地区（JR以南）との整合

(4) 景観地区以外の法規制との整合

- ・用途地域，高度地区，風致地区などの複数の規制の組み合わせに配慮した基準の検討
- ・地区指定することで不適合が大量に発生しないよう適切な基準案の検討